

取扱説明書

TW2A-N9LT

目次

A. はじめに

セット内容
本説明書について
関連文書
本機の特徴

B. 各部の名称・機能・ご注意

タブレット本体
画面 / アイコン
電源ランプ
AC アダプター

C. 基本操作

AC 電源の接続 / 充電
電源 ON / OFF
スクリーンショット

D. 独自機能ガイド

AC 連動パワー OFF
AC 連動パワー ON
バッテリー保護モード

E. 応用操作

Wake on LAN
キオスクモード

F. 困ったときは

トラブルシューティング
初期化 (回復・リカバリー)

G. 運用とメンテナンス

設置・使用環境
メンテナンス

H. 技術情報、その他

公的規制など
仕様、その他

本説明書について

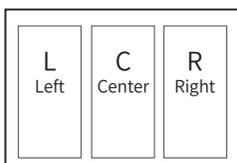
— 予めご了承ください —

本機は業務用機器のため、本書はシステムインテグレーター (Sier) または PC やスマートフォンの基本操作に慣れている方を前提としています。一般的な Windows PC と同様の操作法は記載を省き、本機特有の内容のみを記載しています。

システムに不慣れな方が実施すると製品の動作に重大な影響を与える設定もありますので、十分にご注意ください。本書の構成上、本機には直接関係のない文面が含まれることがあります。

本書のページ構成

各ページは3ブロックで構成し、LCR で表記しています。1R は1ページ目の右列を意味します。



A はじめに

セット内容

— ご使用開始前にご確認ください —

- 本体
- ACアダプター (DC12V 2A)
- ACプラグヘッド
- ダウンロードガイド

関連文書

— ダウンロードのお願い —

本書および関連文書の記載内容に反した使用による不具合は、保証期間内であっても有料修理となる場合があります。使用前によくお読みいただき、必要とすすぐにご覧になれるよう以下のURL内のリンクから各関連文書をダウンロードのうえお手元に保管してください。

製品サポートTOPページ <https://ods.co.jp/support/top.html>

- 安全上・使用上のご注意
- 本書 (取扱説明書)
- 製品仕様書 (寸法図 各種ドライバ)
- 修理・保証規約
- サポートガイド
- 他



本機の保証期間、補修用性能部品の保有期間 (製品の修理対応期間)、本機に含まれる有寿命部品や消耗品の品目など、修理にとって重要な情報は「製品仕様書」の記載をご確認ください。

- ・有寿命部品や消耗品の部品交換は、保証期間内・外にかかわらず有料です。
- ・修理期間完了間近および完了済の製品は、上記製品サポートTOPページからリンクしている「製品別情報」にてご確認ください。

本機の特長

◆ **特定業務用途向け Windows 11 IoT Enterprise LTSC OS**
お客様がご用意されたアプリを長期安定運用していただくのに適したOSです。

◆ **選べる給電方法 (ACアダプター / Power Delivery IN)**
付属のACアダプターとPD (Power Delivery) 30Wタイプの使用も可能です。

◆ **業務用ならではの豊富な物理端子**
Type-A端子、Type-C端子、mini HDMI出力端子など安定した接続が可能です。

◆ **長寿命な800サイクルバッテリー**
フル充電800サイクル経過時でも、初期性能の80%以上の駆動時間を維持します。

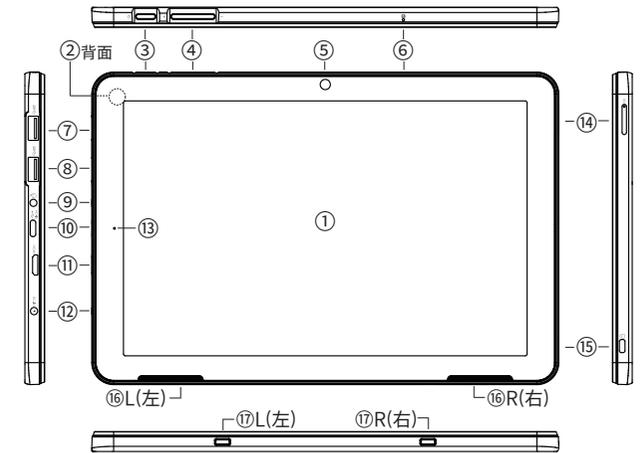
◆ キットングだけで実現できる各種BIOS設定

- ・バッテリー保護モード (AC常時給電モード)
- ・AC給電連動パワーONモード
- ・AC給電連動パワーOFFモード ※当該機能は、BIOS設定なしでも動作可能。

◆ **各種キットング作業やカスタムBIOS開発を国内でサポート**
上記以外でもお客様のご要望にきめ細かく迅速に対応できる、国内サポート体制です。

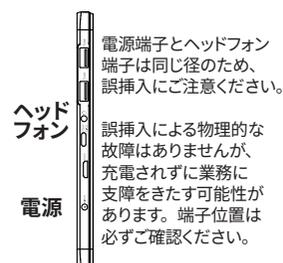
B 各部の名称・機能・ご注意

タブレット本体



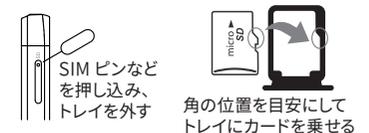
- ① **ディスプレイ (LCD画面)**
10点マルチタッチ対応
- ② **カメラ (背面)**
固定短焦点 2Mピクセル
- ③ **電源ボタン**
- ④ **音量ボタン (+/-)**
- ⑤ **カメラ (前面)**
オートフォーカス 5Mピクセル
- ⑥ **内蔵マイク (モノラル)**
- ⑦ **USB端子1 (3.0 Type-A)**
- ⑧ **USB端子2 (3.0 Type-A)**
- ⑨ **ヘッドセット/ヘッドフォン端子**
4極 CTIA規格 (単体マイク不可)
- ⑩ **USB端子3 (2.0 Type-C)**
PD (15V対応 30W) 給電端子兼用
- ⑪ **mini HDMI 出力端子**
- ⑫ **電源入力端子 (DC IN)**
- ⑬ **電源ランプ** (※次項参照)
- ⑭ **microSDスロットトレイ**
別体トレイタイプ
- ⑮ **セキュリティ・ロック・スロット**
ケンジントン・セキュリティ・スロット規格
- ⑯ **内蔵スピーカー (ステレオ/L/R)**
- ⑰ **設置ガイドホール**
お客様オリジナルのクレードル等で、位置決め用ガイドとして利用できます

電源の位置にご注意!



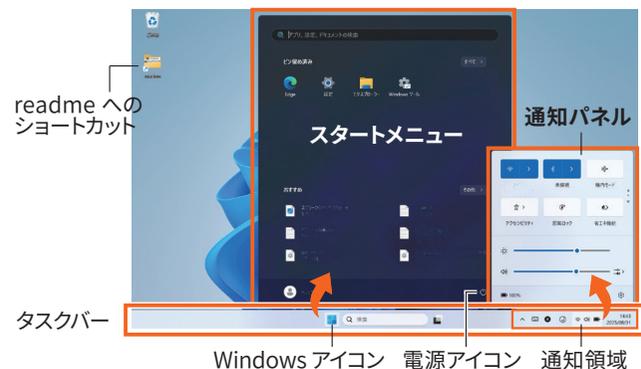
SD カード用トレイの紛失にご注意!

本機の SD カードスロットはトレイ式です。PC によくある直接挿入スロットではありません。SIM ピンやクリップなどをトレイの穴に垂直に挿入することで、トレイを外すことができます。外したトレイに下記のように SD カードを乗せ、本体にトレイごと挿し込んでください。トレイの紛失には十分ご注意ください。



画面 / アイコン

Windows 機の画面やアイコンの名称には諸説ありますが、本項では本書内で使用する名称を紹介します。



電源ランプ

	アダプター接続 (AC 供給) 時		アダプター非接続時	
	Power OFF	Power ON	Power OFF	Power ON
満充電時	● 消灯	● 緑点灯	● 消灯	● 緑点灯
充電中	● 赤点灯	● 橙点灯	● 消灯	● 緑点灯

スリープ中は、Power ON と同じ表示になります。

電源ランプには以下の意味合いがあります。

- 緑点灯 : Power ON
- 赤点灯 : 充電中
- 橙点灯 : 充電中 + Power on ●
- 黒(消灯): Power OFF + 非充電(または満充電)中
- 赤点滅 : 電池残量が2%未満のため、起動できない状態です。アダプターを接続しても30分以上点滅が継続する場合は、当社カスタマーセンターにご相談ください。

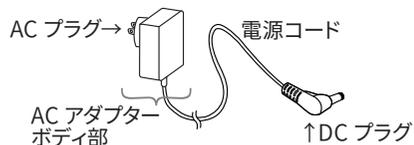
ACアダプター(付属品)

別体品



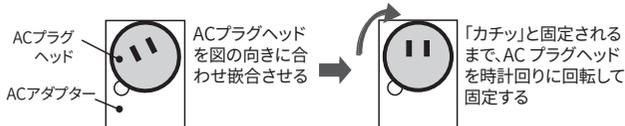
ACプラグヘッド

組立て後の各部の名称



ACアダプターの組立て

ACアダプターにACプラグヘッドを装着します。



C 基本操作

AC電源の接続 / 充電

本機の給電には、付属の AC アダプターの他、市販の PD アダプターを使用することができます。いずれの場合でもアダプターは壁コンセントなど適切な電源に接続してください。

(☞「E: その他」>「設置、使用環境」参照)



💡 ACプラグ部は定期清掃を実施してください。ほこりの蓄積、水濡れの放置などは火災の原因となります。

💡 たこ足配線はしないでください。特にブレーカーをONにした瞬間、過大電流により発熱、発火の危険性が高まります。

💡 初めてお使いになるときや充電残量が少ないときは、30分以上充電をおこなってください。

💡 充電残量が0%のまま長期間使用されなかった場合は、充電時間が通常時よりも大幅に長くなる場合があります。

💡 本機に接続している外部USB機器の総和が過大な場合、ACアダプターを接続していてもバッテリー残量が減少したり、動作速度が遅くなることがあります。このようなときは、セルフパワー型USBハブを介して外部USB機器を接続することをお勧めします。

💡 オプションの Magconn 充電システムもご使用いただけます。

Magconn 充電システムのご使用について

店舗などに最適な自立型の充電クレードルとジャケットのシステムです。電源は PD アダプターを使用します。付属の AC アダプターを直接つなぐ場合より充電時間は長くなります。



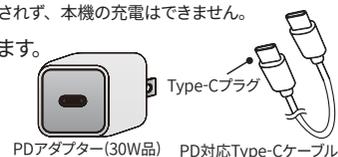
PD(Power Delivery) アダプターの選定について

PD アダプターは付属していませんので、Magconn システムなどをご使用の際は、別途ご用意いただく必要があります。

・PD アダプターは 30W 品 (15V 対応品) をご使用ください。30W 未満品では充電電圧が足りず、充電されない場合があります。

・充電用のケーブルは、PD 対応品であることをご確認ください。非対応品では PD 充電用の信号が伝送されず、本機の充電はできません。

※当社にて推奨品をご案内しています。事前にお問い合わせください。



電源のON / OFF

電源 ON 電源ボタンを3秒長押し

電源ランプの色が変化したら指を離します。AC 給電時の赤→橙の変化は表示の違いが判別しにくい場合がありますが、繰り返しご使用いただくことで徐々に違いが明確になり、スムーズにご使用いただけるようになります。

電源 OFF [方法①] Windows アイコン → 電源アイコン → シャットダウン を順次タップ

[方法②] 電源ボタンを3秒長押し → スライド式シャットダウン画面を指でスライド



強制終了 電源ボタンを10秒以上押し続ける

通常稼働時には常用せず、本機がフリーズした場合などやむを得ないとき以外は実施しないでください。頻繁に実施すると、書き込み中のデータだけでなくレジストリやシステムファイルが破損し、起動時にエラーが出たり、Windows が起動しなくなることがあります。

スリープ ON/OFF 電源ボタンをカチッと短押しする

ボタンを押すたびにスリープ ON/OFF を繰り返します。スリープ状態からの復帰には数秒かかりますので、焦らずにしばらくお待ちください。カチカチと何度も押してしまいますと、復帰しませんのでご注意ください。

💡 本機は 24 時間連続稼働を前提とした設計になっておりません。最低限 1 日 1 回は電源 OFF または再起動をおこなってください。不用データ (garbage) の蓄積を防止し、パフォーマンスの低下を防ぎます。

初回起動時のご注意

- ・初回起動時は AC アダプターより給電をおこない、電源を切らずに処理が完了するまでお待ちください。
- ・初回起動時は、セットアップ処理や初期構成の実行により、通常よりも起動に時間がかかる場合があります。これは製品の仕様によるものであり、異常ではありません。画面の指示に従って操作を進めてください。
- ・初回起動後は、起動時間が短縮され、通常通りご使用いただけます。

バッテリー低残量時の動作について

- ・Windows OS はバッテリー残量が 5% 未満になると、OS の安全性のために自動的にシャットダウンします。
- ・バッテリーが 2% 未満の状態では、電源を ON することはできません。また、給電を促すために電源ランプが点滅しますので、アダプターを接続してください。

スクリーンショット

手順

- ① 電源ボタン と 音量マイナス (-) ボタンを同時押しする
- ② スクリーンショット実施後にスリープ状態になってしまった場合は、スリープ解除のために電源ボタン短押しし、数秒待つ
- ③ ピクチャ > スクリーンショット のフォルダにて内容を確認する

D 独自機能ガイド

AC連動パワーOFF

AC電源が切断されたことを検知し、本機が自動でシャットダウンする機能です。電源ブレーカーなどで一斉に電源を切るような運用をしている現場に適しています。切断状態が30秒継続した場合のみ作動し、落雷などにより瞬間的にAC電源が不安定な状態になった場合は本機能は作動しません。



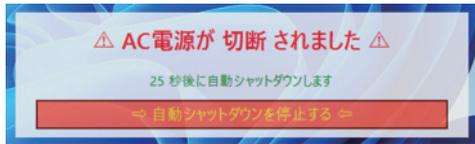
設定方法

「スタートメニュー」→「エクスプローラー」→「PC」→
「Windows11(C:)」→「ODS」→「LTSC」→
「setupACOFFshutdownFunc.exe」→
(AC給電停止時の自動シャットダウン機能を)「使用する」→「OK」

上記の手順のみで本機能は常駐され、動作するようになります。同フォルダ内にある「ACOFFshutdown.exe」を実行する必要はありませんが、当ファイルを削除しますと、本機能は実行できません。

動作イメージ

設定完了後にACの切断を検知すると、以下の画面が表示されます。



そのまま放置すると、約30秒でシャットダウン動作になります。カウントダウン中に給電を再開、または赤枠部分をタップすることでシャットダウン動作を停止することも可能です。

本機能の使用を停止するには、前述の設定方法の手順通り進み(AC給電停止時の自動シャットダウン機能を)「使用しない」→「OK」と、設定を変更してください。

AC連動パワーON

AC電源から給電されている間は、常に本機は起動(パワーON)した状態にする機能です。電源ブレーカーなどで一斉に電源を入れるような運用をしている現場に便利です。



設定方法

キックティングによる設定になります。
ご希望の際は当社カスタマーセンターにご依頼ください。
本機能のご使用を停止される場合も、再度のご依頼をお願いします。

動作イメージ

AC電源が供給されている間は、常に本機はパワーON状態となり、本機の電源を手動でシャットダウンしても、自動的に再起動します。

バッテリー保護モード

AC電源を接続したまま運用したい環境に適した設定です。過充電・過放電を防ぎ、バッテリーに優しい充電残量の領域で運用します。



バッテリーが75%に達したら充電を停止し、使用などにより残量が50%未満まで減ると、自動で充電を再開します。AC電源が非接続の状態では残量が30%未満になった場合は、自動でシャットダウンさせる設定も可能です。

※ Windows OSにある「省エネ機能」などとは別の当社独自機能です。

設定方法

キックティングによる設定になります。
ご希望の際は当社カスタマーセンターにご依頼ください。
本機能のご使用を停止される場合も、再度のご依頼をお願いします。

バッテリー保護モード中の動作イメージ

- 充電の最大値が75%になり、それ以上の値にはなりません。
- 30%未満で自動シャットダウンする機能を使用しない場合、自動シャットダウンはWindows OSの設定(5%未満)が適用されます。
- 当モードは、電池残量により仕様が細分化されていますが、電池残量値は参考値であり、動作状況により多少の前後があります。

電源ランプ仕様

電池残量	アダプター接続 (AC 供給) 時		アダプター非接続時	
	Power OFF	Power ON	Power OFF	Power ON
満充電時	●消灯	●緑	●消灯	●緑点滅
75~50%	●赤 ●消灯	●橙 ●緑	●消灯	●緑点滅
50~SD*%	●赤	●橙	●消灯	●緑点滅
2~SD*%	●赤		●消灯 (●緑点滅)	
2% 未満	●赤点滅		●消灯	

SD*%: システムのシャットダウン設定値

バッテリー保護モードの「30%自動シャットダウン」を有効化している場合は30%、使用しない場合はWindows OSの設定(5%未満)が適用されます。

電源ランプの意味合いは通常モードと同じですが、さらに細かい区分があります。

- 緑点灯 : Power ON
- 赤点灯 : 充電中
- 橙点灯 : 充電中 ● + Power on ●
- 黒(消灯) : Power OFF + 非充電(または満充電)中
- 緑点滅 : アダプターの接続を促す表示です。低残量時にパワーONしようとしたときにも表示されます。
- 赤点滅 : 電池残量が2%未満のため、起動できない状態です。アダプターを接続しても30分以上点滅が継続する場合は、当社カスタマーセンターにご相談ください。

- スリープ時は、Power ON と同じ表示になります。
- 充電量が50~75%の区間では、50%未満からの充電状態か、75%からの放電状態かにより、電源ランプの光り方が変わります。

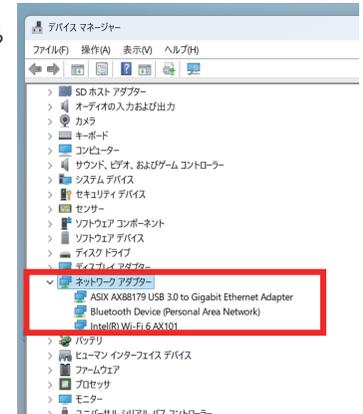
E 応用操作

Wake-on-LAN (WoL)

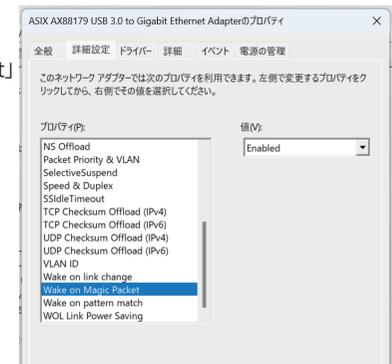
本機は遠隔地のPCからUSB-NIC (ネットワークインターフェースカード) 経由で、スリープ状態から自動的にパワーONさせることができます。

本タブレット側の設定

- ① デバイスマネージャーを開き、ネットワークアダプタの欄からWoLパケットを受信するアダプタをクリック



- ② アダプタを選択後「詳細設定」タブ → 「Wake on Magic Packet」を選択 → OKボタン



- ③ 「電源の管理」タブ → 赤丸二つの場所にチェック → OKボタン

この設定をするとスリープ状態からの解除ができます。



コントロール用 PC の設定

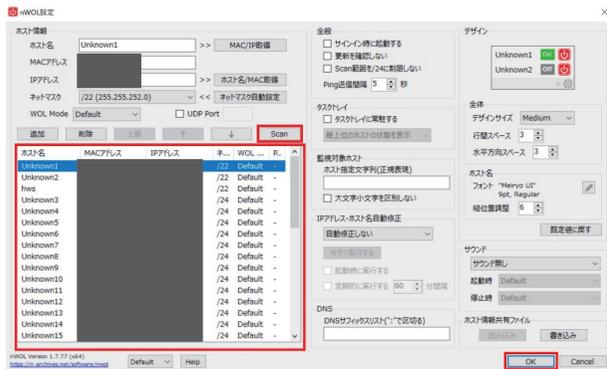
本項では、「nWOL」というツールを使用する場合を例に説明します。「nWOL」は、Wake on LAN技術を活用したPC遠隔起動ツールであり、n-Archives.netにより提供されています。

① コントロール用ソフトをPCにインストールする

「nWOL」を使用される場合、当社からは一切の配布等はおこなっておりませんので、お客様の責任において以下よりダウンロードをお願いします。

<https://n-archives.net/software/nwol/>

② インストール後、「SCAN」ボタンをクリックし、LANに接続されている起動中のホストのリストを表示させる



③ WoLを実行するホストのIPアドレスを確認し、リスト内の該当アドレスをクリック → OKボタン

④ 起動させたいホストの状態がOFF状態になっていることを確認後、電源マークをクリックしてWoL実行



⑤ コントロールしたいタブレット端末が起動されたことを確認し終了

△使用するUSB-NICの選定

当社でWoLの動作確認ができたUSB-NICは、ASIX製IC内蔵品です。

※当社にて動作確認済の推奨品をご案内しています。事前にお問い合わせください。

△Wi-Fi経由でのWoLについて

初出荷時現在、Wi-Fiドライバに不具合があり、WoLを実行するとスリープ状態からディスプレイOFFモードに切り替わり、通常使用状態のパワーON状態にならないことが判明しています。

また、Wi-Fiドライバの「電源の管理」にチェックを入れた状態では、USB NICからのWoLも実行できなくなることが確認されています。

ご不便をお掛けしますが、チップベンダー等の対応をお待ちください。

キオスクモード

Windowsタブレットでも、本機の機能を制限し、特定の用途にのみ利用するために、キオスク(KIOSK)モード化することができます。

前提条件

- ・管理者権限、およびキオスク専用のユーザーアカウントが必要
- ・複数アプリの使用は不可(1つのアプリのみ)
- ・アプリによっては動作しない場合もあります

手順①:ユーザーアカウントの準備

「設定」→「アカウント」→「家族とその他のユーザー」→「その他のユーザーをこのPCに追加」から、ローカルアカウントを作成(キオスク用)

手順②:キオスクモードの設定

「設定」→「アカウント」→「アクセスの割り当て(Assigned Access)」→「キオスクの設定を開始する」をクリック→作成したユーザーを選択→使用するアプリを選択(例:Microsoft Edge)

※Edgeの場合「デジタルサイネージ」または「インタラクティブモード」を選択可能です。

設定完了後、次回そのユーザーでログインすると、選択したアプリのみが起動され、他の操作は制限されます

F 困ったときは

トラブルシューティング

充電されない

→ACアダプターをヘッドフォン端子に繋いでいませんか？
DC IN ジャックにたたく接続してください。

電源が入らない(電源ランプが赤点滅をしている)

→アダプターを接続しても30分以上点滅が継続する場合は、当社カスタマーセンターにご相談ください。

電源が入っているのに、画面が表示されない

→スリープまたはディスプレイOFFの可能性があります。
スリープの場合は、電源ボタンをカチッと短押しし、数秒待つてください。
ディスプレイOFFの場合は、画面をタッチすると状態が解除されます。

機器が熱くなる

→本機は空冷ファンがないため、少々温かくなりますが、異常ではありません。
やけどの危機を感じるような熱さを感じた場合は当社カスタマーセンターにご相談ください。

ミラキャストで画面が映らない

→ミラキャストの利用には市販の受信アダプターまたは対応ディスプレイが必要です。
また、一般的なミラキャスト送受信機は最大解像度が1920*1080のため、ディスプレイの設定を「複製モード」にした場合、映像を伝送できない場合があります。
送り出しの解像度を1920*1080以下に設定してください。

HDMIで接続したモニターから音が出ない

→一部のPC用4Kモニターでは、音声が出力されない場合があります。
モニター側のドライバの更新や、本機のアップデートでも解決できないときは、音声の出力機器は本機に設定するなどの対応をお願いします。

リアカメラでバーコードやQRコードが読み取りにくい

→Windowsが提供するプリインストール版のアプリで不具合がある場合は、適宜ドライバのアップデートや、お客様により別のアプリをお試しください。

初期化(回復・リカバリー)

システムに不具合が生じた際の、初期化(またはリカバリー)方法をご紹介します。この手順により不具合がハードウェア要因ではないことを確認することもできます。ただし業務用端末では、システムの管理者によって、導入用途に応じた仕様のカスタマイズが行われている場合が多く、初期化の実施については、必ず**管理者に相談/依頼**をしてください。

△注意点

- ・システム管理者以外は、本操作はしない
- ・初期化前に重要なファイルはバックアップを保存
- ・MicrosoftアカウントのパスワードやBitLocker回復キーを確認

基本的な初期化手順

- ① ACアダプタを接続し、給電する
- ② 「スタートメニュー」→「設定」→「システム」→「回復」
- ③ 「このPCをリセット」の横にある「PCのリセット」を選択
- ④ 以下のいずれかを選択:

- 「個人用ファイルを保持する」:

ドキュメントや画像などは残るが、アプリと設定は削除
- 「すべて削除する」:完全に初期化(譲渡・廃棄時におすすめ)

- ⑤ 「ローカル再インストール」を選択(PC内の回復領域を使用)
- ⑥ 内容を確認し、「リセット」をクリック
- ⑦ 自動的に再起動 → 初期化が開始されます

△再インストールに関するご注意

- ・クラウドからのダウンロードはLTSC版ではサポート外です。
- ・再インストールのUSBメディア(有償)のご用意もあります。
詳しくは担当営業までお尋ねください。

詳細情報は Microsoft の公式ページよりご確認ください。

<https://learn.microsoft.com/ja-jp/windows-hardware/manufacture/desktop/push-button-reset-overview?view=windows-11>

OSが起動しない場合(電源は入る)

- ① ACアダプタを接続し、給電する
- ② 起動途中の画面で- 電源ボタンを長押しして電源を強制OFF
- ③ 再度電源を入れる
- ④ Windowsロゴが表示されたらすぐにまた長押しして強制OFF
- ⑤ この手順を2~3回繰り返す
- ⑥ 「回復」または「自動修復」画面が表示されたら、「トラブルシューティング」→「このPCを初期状態に戻す」に進む
ただし強制OFF自体もシステムの負担となりますので、緊急時以外は極力実行しないでください。

完全に電源が入らない場合(無反応・通電しない)

この場合は、電源ユニット・マザーボード・バッテリーなどの障害の可能性がありますので、当社カスタマーセンターにご連絡ください。

■瞬時電圧低下について【バッテリー内蔵モデル】

この装置は、社団法人電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満たしております。しかし、本規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。内蔵バッテリーの充電残量が不十分な場合、本規格の耐力（正常動作の継続時間）を満たしませんのでご注意ください。

■瞬時電圧低下について【バッテリーレスモデル】

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。（社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

■高調波電流規制について

JIS C 61000-3-2 適合品
この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

■電波障害自主規制（VCCI規格）について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書ならびに「使用上のご注意」に従って正しい取り扱いをしてください。 **VCCI-B**

仕様・その他**■仕様・スペックについて**

本機の仕様・スペックおよび寸法図などは別文書となっています。本書の関連文書欄よりリンク先をご確認ください。

■バッテリーサイクル（充放電サイクル）について

充放電サイクル表記は、満充電時の容量が初期性能の80%以上保持できる数値を指し、「合計で100%分の放電と充電」を1回（サイクル）とします。
*例：0%から100%の充放電で1回、20%から80%では0.6回とカウントします。
詳細は「使用上のご注意」の記載をご確認ください。

・製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更する場合があります。 ・本書を含む各種マニュアルの内容は、予告なく変更する場合があります。 ・本書で使用している画像等はイメージであり、製品とは異なる場合があります。 ・本書を含む各種マニュアルの内容について、ご不審な点や誤り等がありましたら、当社カスタマーセンターへご連絡ください。なお、本製品の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、各種マニュアルの記載内容にかかわらず当社はその責を負いません。 ・本製品に内蔵のソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティー契約のもとに供給されています。ソフトウェアおよびそのマニュアルは、そのソフトウェアライセンス契約にもとづき、同意書記載の管理責任者のもとでのみ使用許諾されます。 ・他社製周辺機器およびソフトウェアについては動作を保証するものではありませんので、各販売元にお確かめのうえご購入ください。 ・本製品に記録した著作物は、個人で楽しむもののほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。 ・本書を含む各種マニュアルの無断転載を禁じます。
・[商標について] ・Intel、インテル、Intel ロゴ、Intel Inside ロゴ、Intel Processor は、Intel Corporation またはその関連会社の商標です。 ・Microsoft、Windows 及び Windows ロゴはマイクロソフト企業グループの商標です。 ・microSD、microSDHC、microSDXC は、SD Card Association の商標または登録商標です。 ・USB Type-C および USB-C は USB Implementers Forum の登録商標です。 ・Bluetooth は、Bluetooth SIG, Inc. USA の商標または登録商標です。 ・Kensington は、Kensington 社の登録商標です。 ・HDMI および HDMI ロゴ は、米国のほかの国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。 ・Magconn® 及び「Magconn」のロゴは、Magconn 株式会社の商標または登録商標です。 ・「nWOL」および「n-Archives.net」は、n-Archives.net の商標または登録商標です。 ・「ASIX」は、ASIX Electronics Corporation（亞信電子股份有限公司）の登録商標です。 ・その他の会社名、製品名、規格名は各社の商標もしくは登録商標です。 ・本書では®マーク、TMマークを省略しています。

©2025 ODS Corporation

オーディーエス株式会社 〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-5

お問い合わせ先 カスタマーセンター
電話サポート窓口 ナビダイヤル **0570-001134** 2025年08月
製品サポートTOPページ <https://ods.co.jp/support/top.html> DCW223-01A

H 技術情報、その他**公的規制など****■認証取得証明の表示について**

本機では、各国および地域や団体が定める規格の認証取得証明を、電子表示している場合があります。製品本体や本書に認証マークがない場合、下記の手順でご確認ください。

ホーム画面 → 「readme」へのショートカット → 「certification」ファイル

■How to Confirm the Certification Marks

This device may electronically display certification and approval marks in accordance with the safety regulations and standards set by various countries, regions, or organizations. If the product itself or this manual does not bear any certification and approval marks, you can confirm those information by following the below steps;
Home screen → shortcut to "readme" → "certification" file

■電波法、電気通信事業法、高周波利用設備について

本機は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「技適マーク」を掲載しております。また、NFC対応モデルでは、高周波利用設備として認可を受け、「総務省指定マーク」を取得し、お客様は本機の設定申請をせずにご利用いただけます。

各マークは「**認証取得証明の表示について**」の手順にてご確認ください。

本機内部の改造をおこなった場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。

■無線LANおよびBluetoothワイヤレステクノロジーについて**2.4GHz帯無線LAN / Bluetoothワイヤレステクノロジー**

本機は2.4GHz帯の周波数帯を使用しますが、他の多くの無線機器にも同じ周波数が使われています。他機器との電波干渉を防止するため、「使用上のご注意」に記載された「電波・無線LAN・Bluetoothに関するご注意」も併せてご確認ください。

2.4 DS/OF 4

〈2.4GHz帯無線LAN〉 本機は、2.4GHz周波数帯を使用するDSSS変調方式/OFDM変調方式の無線装置で、与干渉距離が40mであることを示しています。
※ 使用できるチャンネル(ch)は、1ch～13chです。

2.4 FH 4

〈Bluetoothワイヤレステクノロジー〉 本機は、2.4GHz周波数帯を使用するFHSS変調方式の無線装置で、与干渉距離が40mであることを示しています。

※ 送信出力はPower Class1で通信範囲は見通し距離約10mです。

5GHz帯無線LAN 本機は5GHz帯無線LANを内蔵しています。

IEEE802.11a/n/ac/ax

J82 W52 W53 W56

使用可能チャンネル(ch)一覧

W52: 36ch, 40ch, 44ch, 48ch
W53: 52ch, 56ch, 60ch, 64ch
W56: 100ch, 104ch, 108ch, 112ch, 116ch, 120ch, 124ch, 128ch, 132ch, 136ch, 140ch, 144ch

※ W52とW53は、電波法によりご利用が屋内に限定されています。

■電磁妨害ノイズや静電気などへの耐性基準について

この装置はCISPR35(マルチメディア機器の電磁両立性 一イミュニティ要求事項一)適合品です。

G 運用とメンテナンス

本書ならびに「安全上・使用上のご注意」や「製品仕様書」の記載事項に従ったご使用と、適切なメンテナンスを実施してください。

設置、使用環境**◆使用および保管時の環境温度/湿度を守る**

本機には高速で動作するCPUや電源回路（内蔵バッテリーを含む）を搭載しており、製品全体で放熱をしています。製品仕様書にある環境温度 / 湿度をお守りいただき、かつ通気の良い熱が籠らない環境でご使用ください。パフォーマンスの低下や製品の短寿命化を防止することにつながります。

◆電源は交流100V(50/60Hz)の壁コンセントを使用する**◆延長コードや拡張タップの電流量には十分注意する****◆ACアダプターや電源ケーブルは付属品/当社認定品を使用する**

「IT 機器対応」として販売されている発動発電機や非常用バッテリー、ACアダプターなどであっても、電源の波形品質や予期せぬ電流制限などにより、正しく充電できないだけでなく、本機の電源回路の故障やバッテリーの短寿命化の原因になります。本機付属品（または当社認定品）と壁コンセントにてご使用ください。電源の延長コードや拡張タップ、壁コンセントやプレーカーの電流量にも十分ご注意ください。店舗等で複数台のタブレットを同時に充電する際、発煙、発火、火災、故障が発生する恐れがあります。周囲環境が原因で発生した不具合や事故に対し、当社は責任を負いません。

メンテナンス**毎日のメンテナンス****◆1日1回は電源OFFまたは再起動をする**

本機は24時間連続稼働を前提とした設計ではありません。再起動時に不用データ(garbage)を削除するため、パフォーマンスの低下防止になります。

◆バッテリー残量がゼロになる前に補充電をする

残量ゼロの過放電状態はバッテリーの短寿命化の原因になりますが、長期間充電し続けることもバッテリーへの負荷を高めますのでご注意ください。

定期的なメンテナンス**◆本機に保存したデータなどは定期的にバックアップを取る**

お客様が保存したデータ類の不具合や消失は当社の保証対象外です。

◆バッテリーでの稼働時間や充電に掛かる時間をチェックする**◆バッテリーに膨張や異常発熱がないか確認する****◆バッテリー残量がゼロ（過放電）の状態でも長期放置しない**

バッテリーによる本機の稼働時間が初期性能の50%以下にまで低下した時点が、バッテリーの交換時期（寿命）です。同稼働時間が30%以下にまで低下している場合、膨張や異常発熱が認められる場合、充電が進まなくなった場合は製品の使用を中止し、当社カスタマーセンターへバッテリー交換を依頼してください。（バッテリーの交換は保証期間内・外にかかわらず有料です）製品を使用せず長期保管する際は、保管前と保管後約3ヶ月ごとに55～75%程度まで補充電することをお勧めします。

製品のお掃除**◆軽い汚れにはよく絞ったマイクロファイバークロスなどを使用する****◆消毒には製品仕様書に耐薬性が記載されている薬剤を使用する****◆有機溶剤が含まれた化学そうきなどは使用しない**

お掃除前には誤動作防止のため本機の電源をOFFにすることをお勧めします。日々のクレンジングでは、柔らかい布に水や薄めの中性洗剤を軽く含ませ、固く絞ってからご使用ください。可燃性ガスを含むエアダスター、シンナーやベンジン、化学そうきなどの有機溶剤が含まれているものは、さまざまな事故や不具合の原因となりますのでご使用をお控えください。